

# Reddy OIL CATCH TANK

TOYOTA GR86 ZN8 (FA24)

SUBARU BRZ ZD8 (FA24)

## 取付説明書

取扱説明書を先に読んでから作業を行って下さい。

- 本書は、ご使用前に必ずお読み下さい。
- 本書は、お読みになった後も本製品、取扱説明書と一緒に保管して下さい。

### 適合

車種	車両型式	エンジン型式	ミッション	年式
86	ZN8	FA24	6MT/AT	R3. ~
BRZ	ZD8	FA24	6MT/AT	R3. 9~

(仕様変更等により、記載事項が車両と異なる場合がありますが、ご了承下さい。)



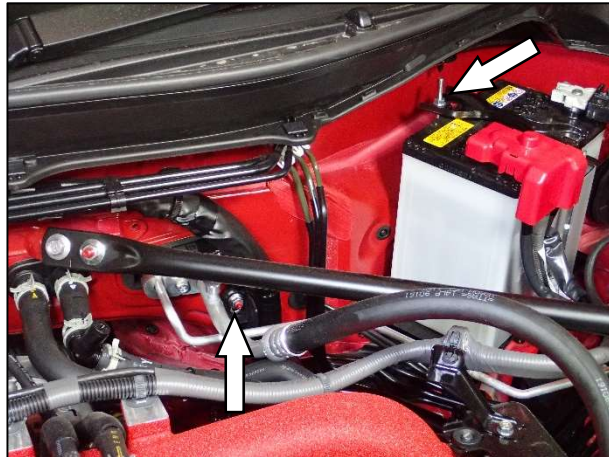
# 1. パーツリスト

<p>1. オイルキャッチタンク</p> 	<p>2. L型ホースユニオン 15φ</p> 	<p>3. レベルゲージ用エルボ</p> 
<p>×1</p>	<p>×2</p>	<p>×2</p>
<p>4. レベルゲージ用ホース</p> 	<p>5. キャッチタンクステーA</p> 	<p>6. キャッチタンクステーB</p> 
<p>×1</p>	<p>×1</p>	<p>×1</p>
<p>7. シリコンホース 1000mm</p> 	<p>8. ホースバンド #6</p> 	<p>9. ホースユニオン</p> 
<p>×1</p>	<p>×4</p>	<p>×1</p>
<p>10. タイラップ 200mm</p> 	<p>11. M8×20mm P1.25 ST B・S/W・F/W・N</p> 	
<p>×5</p>	<p>×2</p>	

## 2. 純正部品取り外し

純正部品の取り外し作業は、メーカーの発行する整備要領書を参照し、作業を行なって下さい。

2-1 バッテリーブラケットのナットと、ハーネスブラケットのナットを取り外して下さい。



2-2 ベンチレーションホースNo.2を切り離し、ホースユニオンを純正のクリップで取り付けて下さい。

<パーツNo.9>

## 3. KIT取り付け

3-1 キャッチタンク組付け

オイルキャッチタンクに、L型ホースユニオン・レベルゲージ用エルボ・レベルゲージ用ホースを取り付けて下さい。  
※L型ホースユニオンにはシールテープを巻き付けて下さい。

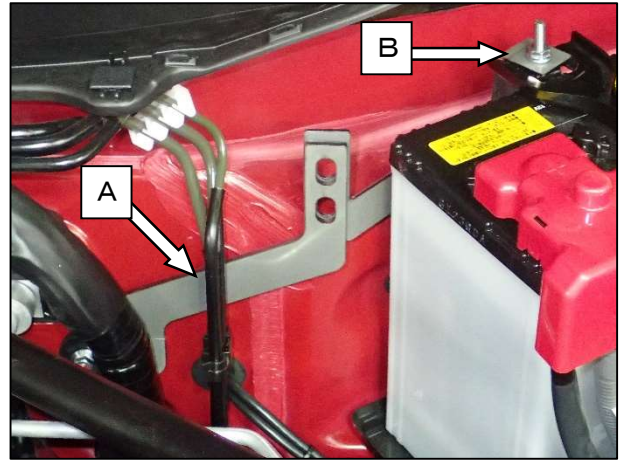
<パーツNo.1・2・3・4>



### 3-2 キャッチタンク取り付け

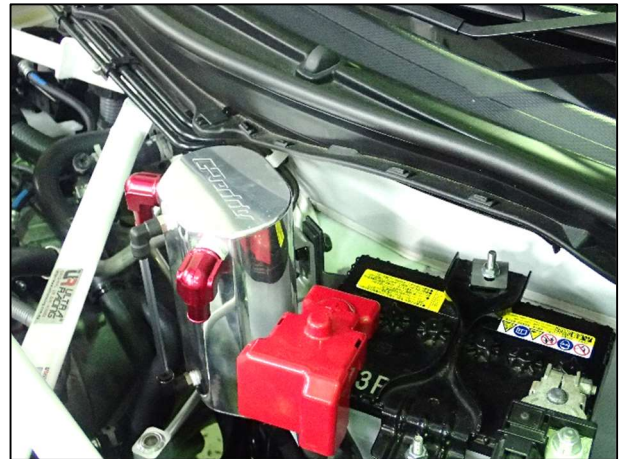
(1) 2-2でナットを取り外したところに、オイルキャッチタンクステーA・Bを純正のナットで仮止めして下さい。

<パーツNo.5・6>



(2) 取り付けしたステーA・Bに、組付けたキャッチタンクをM8×20mmボルト・ナットで仮止めして下さい。全て取り付けたら各部位置を調整し、仮止めボルト・ナットを締め付けて下さい。

<パーツNo.10>



### 3-3 ホース配管

オイルキャッチタンクのL型ホースユニオンと、2-2で取り付けしたホースユニオン及びエアクリーナーホースNo.1のジョイント部を、シリコンホースとホースバンドで配管して下さい。タービンキット装着車両は、ホースユニオンとサククションチューブに配管して下さい。

※長さを合わせ、ホースをカットして取り付けして下さい。



### 3-4 エンジン始動

- (1) 各パーツが正確に取り付けられている事を確認して下さい。
- (2) エンジンを始動し、ボディや回転部との干渉・異音等が無い事を確認して下さい。



**注意**

オイルキャッチタンクに溜まったオイルは、定期的に抜いて下さい。

オイルを抜かずにタンクが一杯になると、ブローパイガスが抜けず、タービンブローやエンジン破損の原因となります。



**警告**

ホースは消耗品です。劣化が進むとオイル漏れが発生し大変危険です。

定期的に点検し、劣化する前にホース交換を行って下さい。



**警告**

定期点検は、自動車の安全性をはかる上で必要不可欠です。日常の点検はもとより

「運行前点検」や「定期点検」は必ず実施して下さい。

以上でKIT取り付けは終了です。